

パソコンいわくら教室新聞

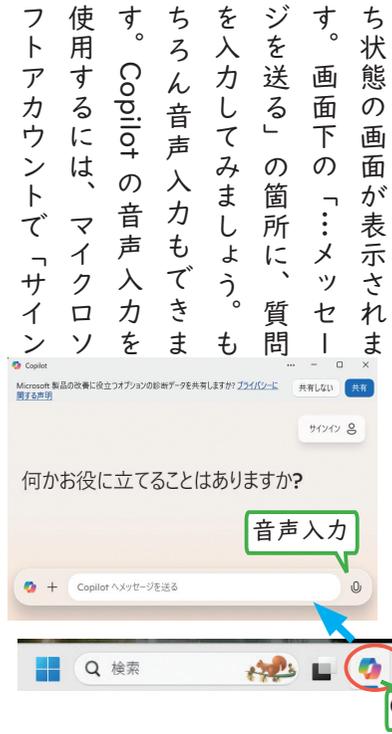
日常生活の上で地味に面倒な事柄、それは「献立」を考えることでしよう。3度の献立を毎日考えることは、煩わしい家事の一つでしょう。

ここはAIの出番！

話題になったチャットGTP、少し前に登場して世間を騒がせました。それ以来「AI」の機能はこれまた日進月歩。前回の新聞では、グーグルのGeminiを使用した画像生成の例を上げてみました。

今回はレシピを提案してもらいましょう。今回使用するのは、ウィンドウズに標準装備されている「Copilot（コパイロット）」を使ってみます。

（Coの意味は、補助、共通、共同などの意味があります。ここでのCopilotは副操縦士の意味ですね）タスクバーにあるアイコンをクリックしてみましょう。Copilotが立ち上がり、質問の入力待ち状態の画面が表示されます。

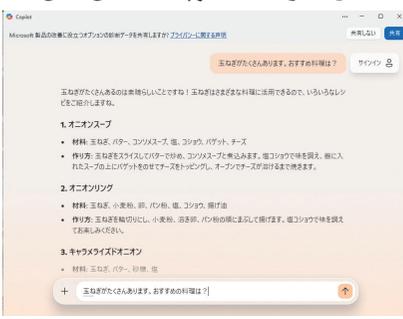


画面下の「: メッセージを送る」の箇所に、質問を入力してみましょう。もちろん音声入力もできます。Copilotの音声入力を使用するには、マイクサウンドアカウントで「サインイン」する必要があります。（ウィンドウズでの音声入力は昨年「卯月」の新聞参照）

さあ、訪ねてみよう！

ユーザー入力欄に、質問してみましょう。今回は「玉ねぎがたくさんあります。おすすめの料理は？」と訪ねてみました。

すると5つのレシピを紹介してくれました。これは用意されている回答ではなく、その都度ネット上の情報から適切な答えを導き出し表示しています。そのため、毎回異なる回答が表示されることもあるでしょう。表示されているレシピの文章をコピーする機能もありますので、メモに残したいときは便利です。（文章の一番下にコピーボタンがあります）



つづけて追加の質問をすることもできます。「オニオンスープを作るときに、オーブンがありません。」としてみました。すると、オーブンがないときのレシピも提案してくれます。更に質問を続けることもでき、まるで会話しているように進めることができます。新しい話題の会話を始める場合は、入力画面左の「+」をクリックし「新しいチャットを開始」としましょう。

次に、冷蔵庫のあまりもので「キャベツ、玉ねぎ、ごぼう、豚肉、セロリ」で何が作れるか聞いてみましょう。3つのレシピを考案してくれました。

人工知能「AI」と言われるとなんだか難しそうな感じですが、このように、身近なことに使うこともできます。今回はレシピを例に紹介しましたが、旅先などの情報を得るのにも重宝しそうです。



松山に行くのだけにおすすめのスポットは？と尋ねると、松山城や道後温泉などいくつか紹介してくれますし、場所を尋ねると直接の表示はできません。地図のリンクも作成してくれます。

AIがないときの情報検索では、キーワードを上手く入力できないと、その情報にはうまくたどり着けませんでしたが、言葉で何度も尋ねれば、後はAIが導いてくれます。まずは身近なところからAIに触れてみるのでもいいのではないのでしょうか。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホからはQRコードからどうぞ。
<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

